



2023年1月31日

各 位

会 社 名 中 部 飼 料 株 式 会 社  
 (コード番号：2053 東証プライム・名証プレミア)  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 野 晴 信  
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 伊 藤 敏 宏  
 (TEL：052-204-3050)

## ポジティブ・インパクト・ファイナンス契約締結に関するお知らせ

当社は、株式会社三菱UFJ銀行（以下「三菱UFJ銀行」）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」に関する融資契約を締結しましたので、お知らせいたします。

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」とは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）※1が策定したポジティブ・インパクト金融原則※2、及び実施ガイドに基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。



本契約の締結にあたり、三菱UFJ銀行・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が定性的、定量的なインパクト評価を実施し、株式会社日本格付研究所より評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について第三者意見を取得しております。

当社は、「特性ある仕事をして社会に貢献する」という社是のもと、事業活動を通じて環境・社会課題の解決に取り組み、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指してまいります。

### 【本契約の概要】

契約締結日 : 2023年1月31日  
 融資額 : 20億円  
 融資期間 : 5年  
 資金使途 : 事業資金  
 貸出人 : 三菱UFJ銀行

### 【取組項目と評価指標】

内容	目標とモニタリング項目（KPI等）	SDGs
安全・安心な飼料製造を継続的に実施するための管理体制の充実および、付加価値を持つ飼料の継続的な開発・拡販	<b>【目標】</b> ・2027年度 畜産飼料販売数量 10%増加 (2022年度比) <b>【モニタリング項目（KPI等）】</b> ・畜産飼料販売数量	 

<p>・「差別化飼料」（汎用製品ではなく高付加価値を持つ製品であり、顧客と共同開発した飼料）の継続的な開発・拡販</p> <p>・畜産保険のブラッシュアップ・拡販</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度 畜産飼料売上高に占める「差別化飼料」売上高の比率 5%増加（2022年度比）</li> <li>・2023～2027年度 畜産保険の累計販売件数 3,000件</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産飼料売上高に占める差別化飼料売上高の比率</li> <li>・畜産保険の販売件数</li> </ul>	 
<p>新たな食品副産物の飼料原料への活用および、飼料原料における割合の増加</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品副産物使用数量の増加</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品副産物使用数量</li> </ul>	 
<p>畜糞発酵処理機「コンポ」の継続的な開発・拡販</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023～2027年度 コンポの累計販売台数 400台</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンポの累計販売台数</li> </ul>	 
<p>鶏糞量を約20%削減することができる採卵鶏飼料「KDシリーズ」のブラッシュアップ（製品の能力向上）・拡販</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023～2027年度 「KDシリーズ」の累計販売数量 50万トン</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KDシリーズの累計販売数量</li> </ul>	  
<p>環境に配慮した飼料（「KDシリーズ」、飼料中のアミノ酸バランスを改善することで排せつされる窒素の量を低減する飼料、牛のゲップを抑制する飼料等）の開発・拡販</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度 環境に配慮した飼料の販売数量を倍増させる（2022年度比）</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した飼料の販売数量</li> </ul>	  
<p>有機入り配合肥料の開発・拡販</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度 有機入り配合肥料の販売数量 50%増加（2022年度比）</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目（KPI等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機入り配合肥料の販売数量</li> </ul>	 

<p>太陽光発電設備の設置</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度 太陽光発電設備を2ヶ所設置</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目 (KPI等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電設備の設置実績</li> </ul>	 
<p>無魚粉飼料・低魚粉飼料の開発・販売</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度 無魚粉・低魚粉飼料の販売数量20%増加(2022年度比)</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目 (KPI等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無魚粉・低魚粉飼料の販売数量</li> </ul>	  
<p>飼料の安全性の確保</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証(「ISO22000」、「GMP」、「ISO17025」)取得の継続</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目 (KPI等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各認証の取得状況</li> </ul>	 
<p>労働時間の削減</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人当たり残業時間の削減</li> <li>・有給休暇の取得日数の維持</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目 (KPI等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人当たり残業時間</li> <li>・有給休暇の取得日数</li> </ul>	
<p>エネルギー使用量削減、CO<sub>2</sub>排出量削減</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年度 エネルギー原単位 5%削減(2022年度比)</li> <li>・2030年度 Scope 1 + 2 排出量 30%削減(2020年度比)</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目 (KPI等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー原単位</li> <li>・Scope 1 + 2 排出量</li> </ul>	 
<p>労災事故、交通事故発生抑制</p>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労災事故 0件</li> <li>・交通事故 0件</li> </ul> <p><b>【モニタリング項目 (KPI等)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労災事故件数</li> <li>・交通事故件数</li> </ul>	

- ※1. 国連環境計画(UNEP)は、1972年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。国連環境計画・金融イニチアティブ(UNEP FI)は、1992年に設立されたUNEPと世界の金融機関によるパートナーシップであり、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG(環境・社会・ガバナンス)への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。
2. UNEP FIが2017年1月に策定した、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた金融の枠組です。企業は達成貢献度をKPIで開示し、融資を行う銀行は指標をモニタリングしインパクトが継続していることを確認します。